

原料費調整制度による適用ガス料金の調整について
(平成26年10月検針分)

武州ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成26年10月に適用する1㎡当たりの単位料金を、平成26年9月検針分に適用の料金に比べ0.95円(消費税込)下方に調整させていただきます。

調整は、検針月の3か月前から5か月前まで(中2か月)の3か月平均の原料価格変動額に応じて行うもので、平成26年10月検針分の単位料金は、平成26年5月から平成26年7月の平均原料価格に基づき算出しました。

この結果、1か月に34㎡(45MJ/㎡)のガスをお使いになる標準家庭で、平成26年9月検針分に比較して、32円(消費税込)ガス料金が下がります。

供給約款料金表			(消費税込)		
	1か月のご使用量	基本料金 (円/月)	単位料金 (円/㎡)		基準単位料金 (円/㎡)
			平成26年10月適用 単位料金(円/㎡)	平成26年9月適用 単位料金(円/㎡)	
料金表A	0㎡から20㎡まで	799	189.78	190.73	171.55
料金表B	20㎡をこえ50㎡まで	1,305	164.46	165.41	146.23
料金表C	50㎡をこえ200㎡まで	1,602	158.52	159.47	140.29
料金表D	200㎡をこえ450㎡まで	3,155	150.75	151.70	132.52
料金表E	450㎡をこえ750㎡まで	5,303	145.98	146.93	127.75
料金表F	750㎡をこえるもの	10,649	138.85	139.80	120.62

標準家庭における影響			(消費税込)
1か月のご使用量	平成26年10月検針分の料金	平成26年9月検針分の料金	影 響 額
34㎡ (45MJ/㎡)	6,896円	6,928円	▲32円

原料価格の変動	
基準平均原料価格 (a)	41,190 円/t
平成26年5月～平成26年7月の 平均原料価格 (b)	62,380 円/t
LNG価格	85,790 円/t
LPG価格	89,420 円/t
差 額 (b-a)	21,190 円/t

[参 考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m³当たりの単価)を調整する制度です。
- ・ 基準平均原料価格(41,190円/t)と「平均原料価格(料金適用月の5か月前から3か月前の3か月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³当たり0.0864円(0.080円に1.08(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。□
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が65,900円(上限値)を超えた場合には、「平均原料価格」は65,900円としてガス料金の調整を行います。

単位料金調整額の算定方法

- ・ 平均原料価格の算定

	LNG平均価格	(貿易統計ベース)	85,790 円/t	×	0.6745
+	LPG平均価格	(貿易統計ベース)	89,420 円/t	×	0.0505
			62,381.065 円		
			↓ (10円未満四捨五入)		
			62,380 円/t		

- ・ 原料価格変動額の算定(基準平均原料価格 41,190円/tからの変動額)

$$62,380 \text{ 円/t} - 41,190 \text{ 円/t} = 21,190 \text{ 円/t}$$

↓ (100円未満切り捨て)

$$21,100 \text{ 円/t}$$

- ・ 単位料金調整額(1m³当たり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = 21,100 \text{ 円/t} \div 100 \text{ 円} \times 0.0864 = 18.2304 \text{ 円}$$

↓ (小数点第3位以下切り捨て)

$$18.23 \text{ 円}$$